

第10回「学校対抗英語 SPELLING CONTEST」 実施規則

I 目的：学校教育における実践的英語コミュニケーション能力、特に表現力向上の要素である単語力を学校間・個人間で、エンターテインメント性を加味しながら、磨き競うことにより、本県の英語教育・国際化事業の充実・推進に資する。

II 期日：2018年9月29日（土）午前10時30分～午後4時30分

III 会場：かでな文化センター（嘉手納町字嘉手納588番地）

IV 主催：一般社団法人 沖縄の英語教育を考える会

V 参加資格：

- 1 文部科学省が認可した、中学校の生徒
- 2 インターナショナルスクール、アメリカンスクールの生徒

VI 実施内容：学校対抗戦による競技を行う。

※学校対抗戦は大会事務局の作成する「トーナメント表」にもとづく

1 出題形式

(1) Oral Dictation（オーラルディクテーション=OD）

- ① 回答はブザーを使用する。

(2) Spelling Bee（スペリングビー=SB）

- ① 回答はボードを使用する。

2 問題数

(1) 各学年 3 問ずつ出題する。オーラルディクテーションを各学年 1 問×2 巡、スペリングビーを各学年 1 問×1 巡行う。全学年 3 問で合計 9 問とする。

(2) 回答者の順番＝（1年OD 1 問→2年OD 1 問→3年OD 1 問）×2 巡、

（1年SB 1 問→2年SB 1 問→3年SB 1 問）

3 予選、準決勝、決勝とも同様な形式で行う。（但し、決勝は2連語を出題する）

4 予選の形式：

(1) 5～7 チームを一組（Batch）としチーム対抗とする。

(2) 1 組から順次、ステージ上で試合が実施される。

5 進め方

(1) オーラルディクテーションの進め方

- ① 出題者（Facilitator）が問題の「**単語のスペル**」を出題する。（3 回繰り返す）
3 回質問後、回答者がいない場合次の単語に変わる。
- ② 回答者は、わかったところでブザーを押す。出題の途中でもブザーを押すことができる。
ブザーを早く押した生徒が指名され、「**単語**」を正しい発音で明瞭に答える。
- ③ 単語が不正解の時は、他へ回答権が移る。（同じ生徒が 2 回回答することはできない。）
- ④ 正解したチームが 1 点を得点する。
- ⑤ 発音や単語ストレスも判定の基準に含まれる。
- ⑥ 同じ要領で各学年 2 問出題される。

(2) スペリングビーの進め方

- ① 出題者が、同学年の回答者全員に、「Spell the word ” //” 」と一斉に「**単語**」を出題する。
- ② 回答者は、ホワイト・ボードにその単語を書く(30秒以内)。
- ③ 出題者の止めの合図でボードを審査員に見せる。その後、書いたスペルは変更できない。
- ④ 回答者は一人ずつその単語を発音しスペルを口頭で答える。(正解者は全て1点得点する)
- ⑤ 回答形式は、
 - 単語を発音する(例:pencilを発音)
 - その単語のスペルを言う(例:p-e-n-c-i-lとスペル言う)
 - 再度単語を発音する(例:pencilを発音)
- ⑥ スペリングビーの問題は1問とする。
- ⑦ 最終的に、オーラルの2問とスペリング1問のトータルがそのチームの得点となる。同じ得点を有するチームがある場合、同点チーム同士オーラルで出題する。各学年1問ずつ行い、多く取得したチームを勝者とする。

6 決勝 (Final Round) の進め方

(1) 出題形式及び回答形式

- ① 「**オーラル・ディクテーション (2つの単語) & スペリングビー形式**」
- ② 出題単語数：**連語**を2巡、スペリングビーは1語を1巡(合計9問)
(Oral Dictation **2 words** each, Spelling Bee 1 word each)

(2) 進行：予選、準決勝と同様、同点の場合も同様に進行する

7 単語リスト (Word lists)

- ① 出題対象となる単語リストは沖英会のホームページからダウンロードできる。
- ② 出題は配布された単語リストから、そのまま出題される。
- ③ 決勝のOral Dictationは、ワードリストの中から2 words を組み合わせ出題する。
- ④ 出題される単語の範囲：中学校一文部科学省認可の中学校英語教科書

8 係及び役割

(1) 司会・進行者 (Facilitator) (人数1名)

出題者／審査員／チームを含めた競技の総合進行

(2) 出題者の役割 (人数1名：日英両語使用)

- ① オーラルディクテーションでのスペルを正しく明瞭に発音する。
- ② 審査員とともに、ブザーを最初に押したチームを確認する。

(3) コーディネーターの役割 (人数1名)

- ① 審査方法の円滑な実施をモニターする。

(4) 審査員 (Judge) の役割 (人数：3名のうち1名はネイティブスピーカーの英語指導者)

- ① 大会規則に基づき、参加者の回答する単語が正しく綴られているか、発音されているか審査する。(アクセント含む)

- ②スペリングビー形式では、ホワイト・ボードのスペルが正解か、また口頭でスペルを精査する。
- ③本大会の全ての選考、勝敗の決定について最終権限を有する。
- ④オーラルディクテーション部分での、ブザーを最も早く押した者を確認する。
- (5)競技・会場進行担当責任者 (Facilitating Director)
 - ①競技の円滑な進行／会場内の良好な環境のモニタリングを行う
- (6)機器操作係り：ブザー等回答用機器の操作
- (7)正解の単語をスクリーンに映し出すパソコン操作係
- (8)記録係

9 参加者の守るべき事項

- (1)オーラルディクテーション：必ず、最初にブザーを押したチームが出題者の指示を確認して、単語を明瞭に発音する。
- (2)スペリングビー：
 - ①ホワイトボードに一斉に単語を書く際に、同じチーム同士で教えてはいけない。他の生徒のカンニングなど不正を行わない。
 - ②ホワイトボードを提示してからスペルを訂正できない。
 - ③回答手順を遵守する。（単語を発音→その単語のスペルを言う→再度単語を発音）
- (3)フェアなプレイ精神で競技する
- (4)大会参加者は、制服を着用すること

10 聴衆 (Audience) に協力依頼する事項：

- ※スペリングコンテストには、会場の物音、話し声等が円滑な進行の妨げとなるので下記事項を守るように徹底する。
- ①出題／回答中、絶対にそのヒントとなるようなことを言うことは固く禁止。
- ②会場では携帯電話の電源を切ること。
- ③同伴の子供が静かに座っているよう、保護者は注意すること。（退場もあります）
- ④競技事前の応援／声かけのタイミングは会場進行担当責任者の指示に従う。
(チーム紹介、登壇、正解した時などに応援する)
- ⑤会場内での喫煙は禁止
- ⑥会場内での飲食は不可

VII 募集要項：別紙のとおり